

令和2年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

算 数

令和2年10月11日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は45分です。
2. 問題は1から7まであり、13ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出下さい。

1 次の にあてはまる数を入れなさい。

問1 $235 + 2276 =$

問2 $2403 - 719 =$

問3 $324.2 - 81.52 =$

問4 $231 \div 3\frac{2}{3} \div 2\frac{4}{7} = \square$

問5 $2.17 \times 72.6 = \square$

問6 $18 + 73 - 117 \div 13 = \square$

問7 $2.5 - \frac{3}{4} = \square$

問8 $\frac{2}{3} \div 1\frac{3}{5} + \frac{1}{3} \times 7\frac{1}{2} = \square$

問9 $1\frac{1}{6} + (1\frac{1}{3} - 0.6) \times 4\frac{1}{6} = \square$

2 次の にあてはまる数を入れなさい。

問1 半日は 秒です。

問2 1 Lは cm^3 です。

問3 水道から水を出しっぱなしにすると、1時間あたり $\frac{3}{4} \text{ m}^3$ の水が流れることとなります。50分間何もせずに水を出しっぱなしにすると、 m^3 の水をむだにすることになります。

問4 160人の6割5分は 人です。

問5 m^2 の48%は 132 m^2 です。

3 次の問いに答えなさい。

問1 次の問題文を1つの式に表して、答えを求めなさい。

13と38の和に7をかけた数から176をひいた答え

問2 ある数に3.7をかけるのを、まちがえてたしてしまったので、答えが8.4になりました。

このときの正しい答えを求めなさい。

問3 次のことがらについて、 a と b の関係を式に表しなさい。

正三角形1辺の長さを a cm, 周りの長さを b cmとする。

問4 ガソリン42 Lで336 km走る自動車Aと, ガソリン28 Lで238 km走る自動車Bがあります。

ガソリン1 Lあたりに走る道のりが長いのは, どちらの自動車ですか。また, その自動車が1 Lあたりに走る道のりを答えなさい。

問5 $2\frac{5}{6}$ kg あった小麦粉を, 昨日は $\frac{3}{4}$ kg, 今日は $1\frac{1}{3}$ kg 使いました。

残った小麦粉は何 kg ですか。

4 次の問いに答えなさい。

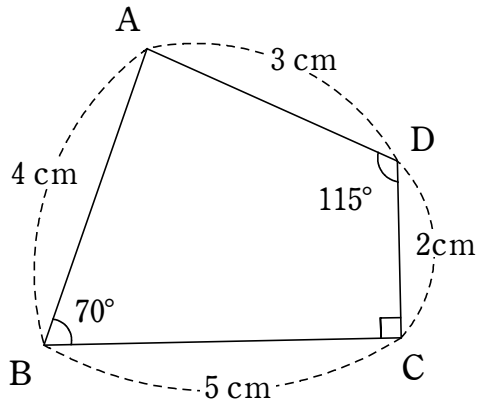
問1 時速 96 km の速さで飛ぶハトが 8 分間で飛ぶきよりは何 m ですか。

問2 お弁当 3 個とお茶 2 本を買ったら 1200 円でした。
お弁当 3 個とお茶 4 本を買うと 1440 円になるそうです。
お弁当 1 個の値段は何円ですか。

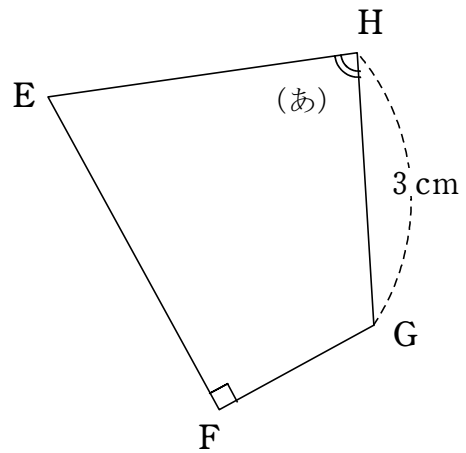
問3 12 kg のお米を 0.42 kg ごとの袋に分けていきます。
0.42 kg ごとの袋は何個できて、何 kg 余りますか。

5 下のア, イの四角形は合同です。

ア



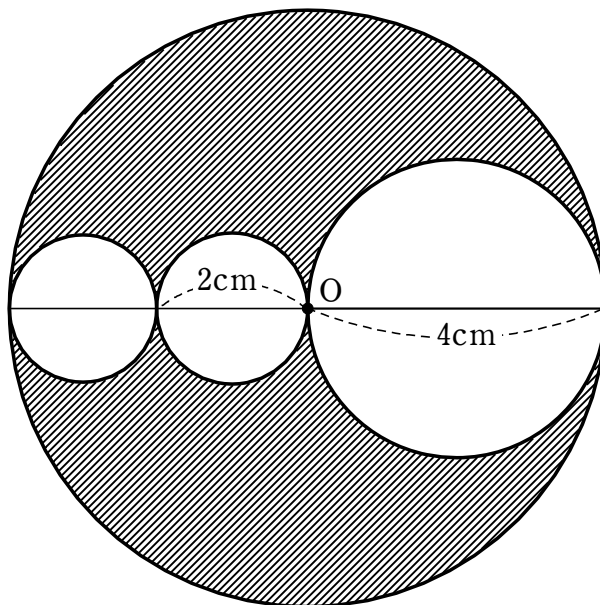
イ



問1 辺EHの長さは何cmですか。

問2 (a)の角の大きさは何度ですか。

- 6 下の図は点 O を中心とする円です。
下の図の斜線（しゃせん）部分の図形について、次の問いに答えなさい。
ただし、円周率は 3.14 を使いなさい。

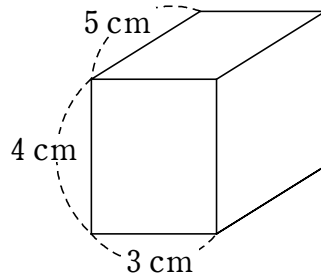


問1 面積は何 cm^2 ですか。

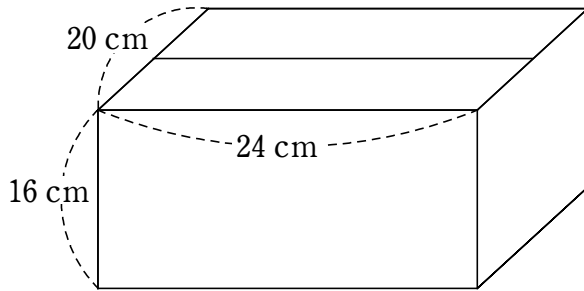
問2 周りの長さは何 cm ですか。

- 7 下のような直方体の形をした箱を段ボールにつめて、宅配便で送ります。下のアからウは、どれも同じ送料で送れる段ボールです。

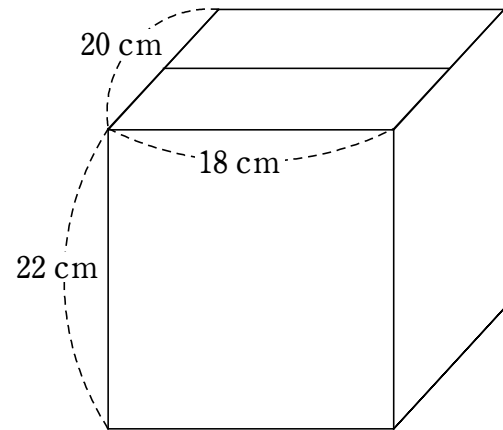
箱をすべて同じ向きにつめていくとき、次の問いに答えなさい。ただし、段ボールの厚みは考えないこととする。



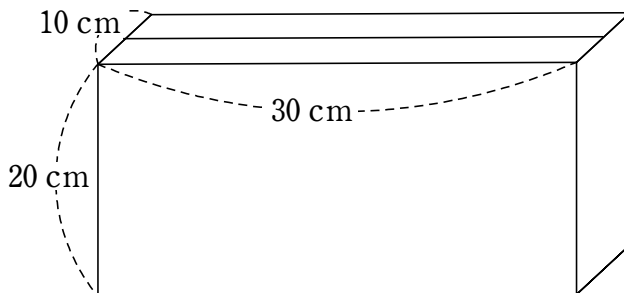
ア



イ



ウ



問1 体積がいちばん大きい段ボールはどれか答えなさい。

問2 箱をつめたときに、すき間が出ない段ボールをすべて選びなさい。

問3 アからウのうち、箱をいちばん多くつめられる段ボールはどれか答えなさい。また、その段ボールには箱を何個つめられるでしょうか。

算 数

令和2年度 函館白百合学園中学校

オープン模試

解答用紙

1	問1		問2		問3		点
	問4		問5		問6		
	問7		問8		問9		

2	問1		問2		問3		点
	問4		問5				

3	問1	式	答え				点
	問2		問3				
	問4	自動車	1Lあたりに走る道のり	km	問5		

4	問1		m	問2		円	点
	問3	0.42 kg ごとの袋は 個できて, kg 余る					

5	問1		cm	問2		度	点
---	----	--	----	----	--	---	---

6	問1		cm	問2		cm	点
---	----	--	----	----	--	----	---

7	問1		問2		問3		点
	問4	1番多く詰められる段ボール 段ボールにつめられる箱の数 個					

受験番号		氏名	
------	--	----	--

/ 100

算 数

令和2年度 函館白百合学園中学校

オープン模試

解答用紙

1	問1	2511	問2	1684	問3	242.68	問1～9 各3点 27点
	問4	$24\frac{1}{2}$	問5	157.542	問6	82	
	問7	$1\frac{3}{4}$	問8	$2\frac{11}{12}$	問9	$4\frac{2}{9}$	

2	問1	43200	問2	1000	問3	$\frac{5}{8}$	問1～5 各3点 15点
	問4	104	問5	275			

3	問1	式 $(13 + 38) \times 7 - 176$			答え	181	問1～2 各3点 問3～5 各4点 18点
	問2	17.39	問3	$a \times 3 = b$			
	問4	自動車 B	1Lあたりに走る道のり	8.5	km	問5	

4	問1	12800	m	問2	320	円	問1～3 各4点 12点
	問3	0.42 kg ごとの袋は 28 個できて、0.24 kg 余る					

5	問1	4	cm	問2	85	度	8点
---	----	---	----	----	----	---	----

6	問1	31.4	cm ³	問2	50.24	cm	8点
---	----	------	-----------------	----	-------	----	----

7	問1	イ	問2	ア, ウ	問1～3 各4点 12点
	問3	1番多く詰められる段ボール ア 段ボールにつめられる箱の数			

受験番号		氏名	
------	--	----	--

/ 100

算数 オープン模試 解答・解説

1 問1 解答

$$235 + 2276 = 2511 \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 235 \\ + 2276 \\ \hline 2511 \end{array}$$

問2 解答

$$2403 - 719 = 1684 \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 2403 \\ - 719 \\ \hline 1684 \end{array}$$

問3 参考

小数のたし算・ひき算の筆算のしかた

- ① 位をそろえてかく。
- ② 整数のたし算・ひき算と同じように計算する。
- ③ 上の小数点にそろえて、答えの小数点をうつ。

解答

$$324.2 - 81.52 = 242.68 \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 324.2 \\ - 81.52 \\ \hline 242.68 \end{array}$$

問4 参考

分数のわり算の計算のしかた

分数のわり算では、わる数の分母と分子を入れかえた分数をかける。

解答

$$\begin{aligned} 231 \div 3\frac{2}{3} \div 2\frac{4}{7} &= 231 \div \frac{11}{3} \div \frac{18}{7} = 231 \times \frac{3}{11} \times \frac{7}{18} = 21 \times 3 \times \frac{7}{18} \\ &= 63 \times \frac{7}{18} = 7 \times \frac{7}{2} = \frac{49}{2} = 24\frac{1}{2} \dots \text{答} \end{aligned}$$

問5 参考

小数をかける筆算のしかた

- ① 小数点がないものとして、整数のかけ算と同じように計算する。
- ② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけた数の和だけ、右から数えてうつ。

解答

$$2.17 \times 72.6 = 157.542 \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 2.17 \\ \times 72.6 \\ \hline 1302 \\ 434 \\ 1519 \\ \hline 157.542 \end{array}$$

問6 参考

+, -, ×, ÷, () が混じっている式の計算のしかた

- ふつう、左から順に計算する。
- () があるときは、() の中を先に計算する。
- +, - と, ×, ÷ とでは、×, ÷ を先に計算する。

解答

$$18 + 73 - 117 \div 13 = 18 + 73 - 9 = 91 - 9 = 82$$

$$\begin{array}{r} 9 \qquad 18 \qquad 91 \\ 13 \overline{)117} \quad + 73 \quad - 9 \\ \underline{117} \quad \underline{91} \quad \underline{82} \\ 0 \end{array}$$

問7 参考

分数と小数のまじったたし算・ひき算の計算のしかた

分数か小数のどちらかにそろえて計算するが、
分数を小数で表せないときは、分数にそろえて計算する。

分数のたし算・ひき算の計算のしかた

分母のちがう分数のたし算・ひき算は、通分してから計算する。

解答

$$2.5 - \frac{3}{4} = \frac{25}{10} - \frac{3}{4} = \frac{100}{40} - \frac{30}{40} = \frac{70}{40} = \frac{7}{4} = 1\frac{3}{4} \dots \text{答}$$

問8 解答

$$\begin{aligned} \frac{2}{3} \div 1\frac{3}{5} + \frac{1}{3} \times 7\frac{1}{2} &= \frac{2}{3} \div \frac{8}{5} + \frac{1}{3} \times \frac{15}{2} = \frac{2}{3} \times \frac{5}{8} + \frac{1}{3} \times \frac{15}{2} = \frac{10}{24} + \frac{15}{6} \\ &= \frac{10}{24} + \frac{60}{24} = \frac{70}{24} = \frac{35}{12} = 2\frac{11}{12} \dots \text{答} \end{aligned}$$

問9 解答

$$\begin{aligned} & 1\frac{1}{6} + \left(1\frac{1}{3} - 0.6\right) \times 4\frac{1}{6} = 1\frac{1}{6} + \left(1\frac{1}{3} - \frac{3}{5}\right) \times 4\frac{1}{6} = 1\frac{1}{6} + \left(1\frac{5}{15} - \frac{9}{15}\right) \times 4\frac{1}{6} \\ & = 1\frac{1}{6} + \frac{11}{15} \times 4\frac{1}{6} = 1\frac{1}{6} + \frac{11}{15} \times \frac{25}{6} = 1\frac{1}{6} + 3\frac{1}{18} \\ & = 1\frac{3}{18} + 3\frac{1}{18} = 4\frac{4}{18} = 4\frac{2}{9} \dots \text{答} \end{aligned}$$

別解

$$\begin{aligned} & 1\frac{1}{6} + \left(1\frac{1}{3} - 0.6\right) \times 4\frac{1}{6} = 1\frac{1}{6} + \left(1\frac{1}{3} - \frac{3}{5}\right) \times 4\frac{1}{6} = \frac{7}{6} + \left(\frac{20}{15} - \frac{9}{15}\right) \times \frac{25}{6} \\ & = \frac{7}{6} + \frac{11}{15} \times \frac{25}{6} = \frac{7}{6} + \frac{55}{18} = \frac{21}{18} + \frac{55}{18} = \frac{76}{18} = \frac{38}{9} = 4\frac{2}{9} \dots \text{答} \end{aligned}$$

2 問1 参考

$1 \text{ 時間} = 60 \text{ 分}$
$1 \text{ 分} = \frac{1}{60} \text{ 時間}$
$1 \text{ 秒} = \frac{1}{60} \text{ 分}$

解答

半日は12時間

$$12 \text{ 時間} = 12 \times 60 \text{ 分} = 720 \text{ 分}$$

$$720 \text{ 分} = 720 \times 60 \text{ 秒} = 43200 \text{ 秒}$$

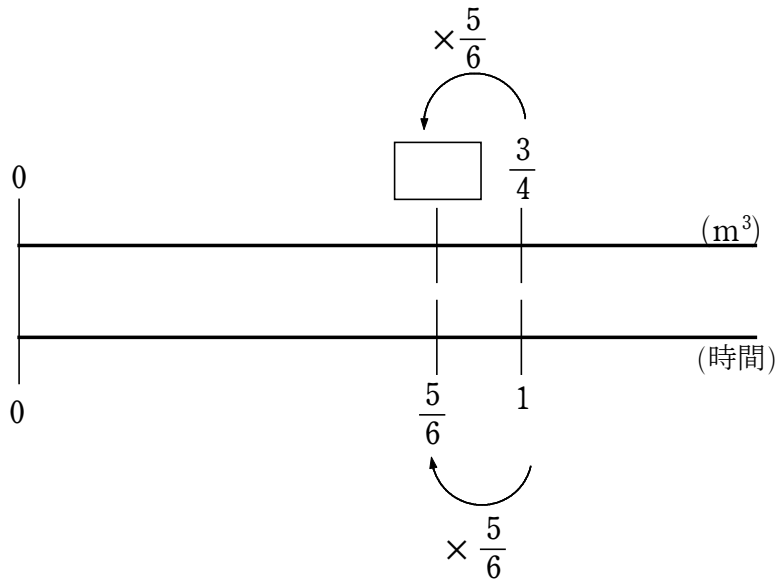
問2 参考

$\begin{aligned} 1 \text{ L} &= 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm} \\ &= 1000 \text{ cm}^3 \end{aligned}$
--

解答

$$1 \text{ L} = 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm} = 1000 \text{ cm}^3 \dots \text{答}$$

問3 参考



参考

$$1 \text{ 分} = \frac{1}{60} \text{ 時間}$$

$$50 \text{ 分} = 50 \times \frac{1}{60} \text{ 時間} = \frac{50}{60} \text{ 時間} = \frac{5}{6} \text{ 時間}$$

流れる水の量は時間に比例しているなので、時間が $\frac{5}{6}$ 倍になれば、流れる水の量も $\frac{5}{6}$ 倍になる。

$\frac{5}{6}$ 時間に流れる水の量を m^3 とすると

解答

$$\text{□} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{6} = \frac{15}{24} = \frac{5}{8} \text{ m}^3 \dots \text{答}$$

問4 **参考**

くらべられる量の求めかた

$$\text{くらべられる量} = \text{もとにする量} \times \text{割合}$$

歩合 (ぶあい)

割合を表す 0.1 を 1 割, 0.01 を 1 分, 0.001 を 1 厘という。

解答

$$160 \times 0.65 = 104 \text{ 人} \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 160 \\ \times 0.65 \\ \hline 800 \\ 960 \\ \hline 104.00 \end{array}$$

問5 **参考**

割合の求めかた

$$\text{もとにする量} = \text{くらべられる量} \div \text{割合}$$

百分率

割合を表す 0.01 を 1 % という。

小数でわる筆算のしかた

わる数とわられる数の小数点を同じけた数だけ右にうつし、わる数を整数になおして計算する。

解答

$$132 \div 0.48 = 275 \text{ m}^2 \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 275 \\ 0.48 \overline{) 132.00} \\ \underline{96} \\ 360 \\ \underline{336} \\ 240 \\ \underline{240} \\ 0 \end{array}$$

3 問1 解答

$$(13 + 38) \times 7 - 176 = 51 \times 7 - 176 = 357 - 176 = 181$$

$$\begin{array}{r} 13 \\ + 38 \\ \hline 51 \end{array} \quad \begin{array}{r} 51 \\ \times 7 \\ \hline 357 \end{array} \quad \begin{array}{r} 357 \\ - 176 \\ \hline 181 \end{array}$$

答 式 $(13 + 38) \times 7 - 176$ 答え 181

問2 解答

ある数に 3.7 をたすと 8.4 だから

$$(\text{ある数}) + 3.7 = 8.4$$

と表せる。

$$(\text{ある数}) = 8.4 - 3.7 = 4.7$$

$$\begin{array}{r} 8.4 \\ - 3.7 \\ \hline 4.7 \end{array}$$

よって、正しい答えは

$$(\text{ある数}) \times 3.7 = 4.7 \times 3.7 = 17.39$$

$$\begin{array}{r} 4.7 \\ \times 3.7 \\ \hline 329 \\ 141 \\ \hline 17.39 \end{array}$$

答 17.39

問3 参考

正三角形の辺の長さはすべて等しい。

$$(\text{正三角形の1辺の長さ}) \times 3 = (\text{正三角形の周りの長さ})$$

解答

$$a \times 3 = b \dots \text{答}$$

問4 **参考**

$$(\text{ガソリン} 1 \text{ L あたりに走る道のり}) = (\text{道のり}) \div (\text{ガソリンの量})$$

解答

自動車 A がガソリン 1 L あたりに走る道のりは

$$336 \text{ km} \div 42 \text{ L} = 8 \text{ km}$$

$$\begin{array}{r} 8 \\ 42 \overline{) 336} \\ \underline{336} \\ 0 \end{array}$$

自動車 B がガソリン 1 L あたりに走る道のりは

$$238 \text{ km} \div 28 \text{ L} = 8.5 \text{ km}$$

$$\begin{array}{r} 8.5 \\ 28 \overline{) 2380} \\ \underline{224} \\ 140 \\ \underline{140} \\ 0 \end{array}$$

答 自動車 B 1 L あたりに走る道のり 8.5 km

問5 **解答**

残った小麦粉は

$$\begin{aligned} 2\frac{5}{6} - \left(\frac{3}{4} + 1\frac{1}{3}\right) &= 2\frac{5}{6} - \left(\frac{9}{12} + 1\frac{4}{12}\right) = 2\frac{5}{6} - 2\frac{1}{12} = 2\frac{10}{12} - 2\frac{1}{12} = \frac{34}{12} - \frac{25}{12} \\ &= \frac{9}{12} = \frac{3}{4} \text{ kg} \cdots \text{答} \end{aligned}$$

別解

残った小麦粉は

$$\begin{aligned} 2\frac{5}{6} - \frac{3}{4} - 1\frac{1}{3} &= 2\frac{10}{12} - \frac{9}{12} - 1\frac{1}{3} = \frac{34}{12} - \frac{9}{12} - 1\frac{1}{3} = \frac{25}{12} - \frac{16}{12} = \frac{9}{12} \\ &= \frac{3}{4} \text{ kg} \cdots \text{答} \end{aligned}$$

4 問1 参考

道のりの求めかた 道のり = 速さ × 時間
1 時間 = 60 分
1 km = 1000 m

解答

時速 96 km は 1 時間で 96 km 進むから、1 分間で

$$96 \div 60 = 1.6 \text{ km}$$

進む。

$$\begin{array}{r} 1.6 \\ 60 \overline{) 960} \\ \underline{60} \\ 360 \\ \underline{360} \\ 0 \end{array}$$

だから、時速 96 km は分速 1.6 km である。

よって、8 分間で

$$1.6 \times 8 = 12.8 \text{ km}$$

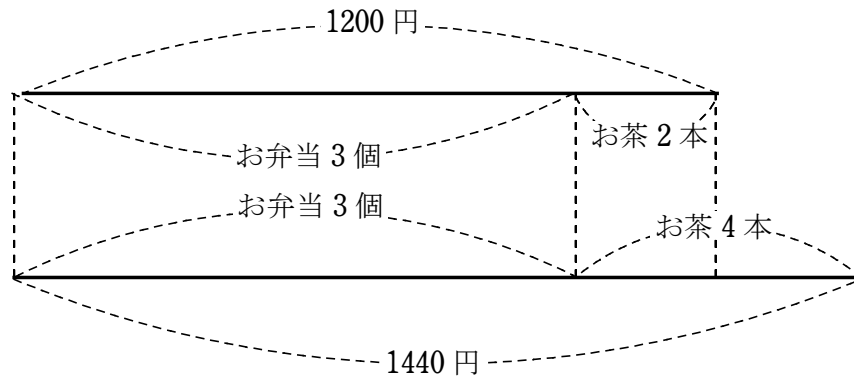
進む。

$$\begin{array}{r} 1.6 \\ \times 8 \\ \hline 12.8 \end{array}$$

1 km は 1000 m であるから、12.8 km は

$$12.8 \times 1000 = 12800 \text{ m} \dots \text{答}$$

問2 参考



解答

「お弁当 3 個, お茶 2 本」と「お弁当 3 個, お茶 4 本」のちがいは「お茶 2 本」で、
値段の差は

$$1440 - 1200 = 240 \text{ 円}$$

$$\begin{array}{r} 1440 \\ - 1200 \\ \hline 240 \end{array}$$

だから, お茶 1 本は

$$240 \div 2 = 120 \text{ 円}$$

$$\begin{array}{r} 120 \\ 2 \overline{) 240} \\ \underline{2} \\ 4 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

また, お弁当 3 個とお茶 2 本で 1200 円だから, お弁当 3 個は

$$1200 - 120 \times 2 = 1200 - 240 = 960 \text{ 円}$$

$$\begin{array}{r} 120 \\ \times 2 \\ \hline 240 \end{array} \quad \begin{array}{r} 1200 \\ - 240 \\ \hline 960 \end{array}$$

したがって, お弁当 1 個の値段は

$$960 \div 3 = 320 \text{ 円} \dots \text{答}$$

$$\begin{array}{r} 320 \\ 3 \overline{) 960} \\ \underline{9} \\ 6 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

問3 参考

小数でわる計算の余りの求めかた

小数でわる計算では、余りの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。

解答

$$12 \div 0.42 = 28 \text{ 余り } 0.24$$

$$\begin{array}{r} 28 \\ 0.42 \overline{) 12.00} \\ \underline{84} \\ 360 \\ \underline{336} \\ 0.24 \end{array}$$

答 0.42 kg ごとの袋は28個できて、0.24 kg 余る

5

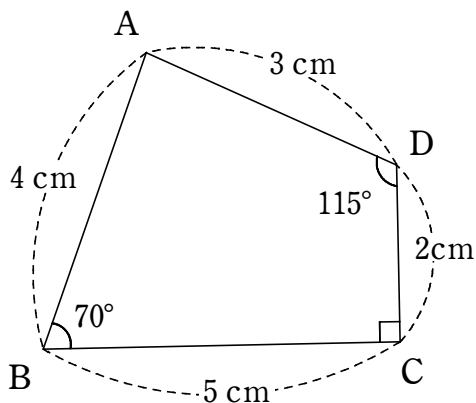
参考

合同な図形の辺と角

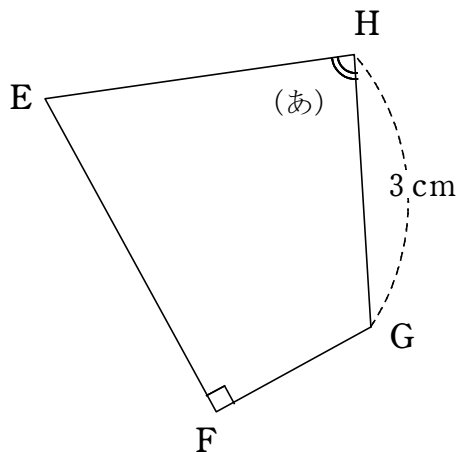
- 対応する辺の長さはすべて等しい。
- 対応する角の大きさはすべて等しい。

問1 解答

ア



イ



辺 EH は辺 AB に対応している。

合同な図形の対応する辺の長さはすべて等しいから辺 EH の長さは 4 cm … 答

問2 解答

角 B は角 E に対応していて、角 B は 70° だから角 E も 70° である。

角 C は角 F に対応していて、角 C は直角だから角 F も直角である。

角 D は角 G に対応していて、角 D は 115° だから角 G も 115° である。

四角形の 4 つの角の大きさの和は 360° だから、四角形 EFGH において

$$(a) = 360^\circ - (70^\circ + 90^\circ + 115^\circ) = 360^\circ - (160^\circ + 115^\circ) = 360^\circ - 275^\circ = 85^\circ$$

70	160	360
+ 90	+ 115	- 275
-----	-----	-----
160	275	85

$$(a) = 85^\circ \dots \text{答}$$

6 問1 参考

円の面積の求めかた
 円の面積 = 半径 × 半径 × 3.14

解答

斜線部分の面積は

$$\begin{aligned}
 & (\text{半径 } 4 \text{ cm の円の面積}) - \\
 & \{(\text{半径 } 2 \text{ cm の円の面積}) + (\text{半径 } 1 \text{ cm の円の面積}) + (\text{半径 } 1 \text{ cm の円の面積})\} \\
 & = 4 \times 4 \times 3.14 - (2 \times 2 \times 3.14 + 1 \times 1 \times 3.14 + 1 \times 1 \times 3.14) \\
 & = 16 \times 3.14 - (4 \times 3.14 + 1 \times 3.14 + 1 \times 3.14) \dots (*) \\
 & = 50.24 - (12.56 + 3.14 + 3.14) = 50.24 - (15.7 + 3.14) = 50.24 - 18.84 \\
 & = 31.4 \text{ cm}^2 \dots \text{答}
 \end{aligned}$$

$$\begin{array}{r}
 3.14 \\
 \times 16 \\
 \hline
 1884 \\
 314 \\
 \hline
 50.24
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 3.14 \\
 \times 4 \\
 \hline
 12.56
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 12.56 \\
 + 3.14 \\
 \hline
 15.70
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 15.7 \\
 + 3.14 \\
 \hline
 18.84
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 50.24 \\
 - 18.84 \\
 \hline
 31.4
 \end{array}$$

別解

(*)のつづき

$$\begin{aligned}
 & 16 \times 3.14 - (4 \times 3.14 + 1 \times 3.14 + 1 \times 3.14) = 16 \times 3.14 - \{(4 + 1 + 1) \times 3.14\} \\
 & = 16 \times 3.14 - 6 \times 3.14 = (16 - 6) \times 3.14 = 10 \times 3.14 = 31.4 \text{ cm}^2 \dots \text{答}
 \end{aligned}$$

問2 **参考**

円周の長さの求めかた
 $\text{円周} = \text{直径} \times 3.14$

解答

斜線部分の周りの長さは

$$\begin{aligned}
 & (\text{直径 } 8 \text{ cm の円周}) + (\text{直径 } 4 \text{ cm の円周}) + (\text{直径 } 2 \text{ cm の円周}) \\
 & \qquad \qquad \qquad + (\text{直径 } 2 \text{ cm の円の円周}) \\
 & = 8 \times 3.14 + 4 \times 3.14 + 2 \times 3.14 + 2 \times 3.14 \dots (**) \\
 & = 25.12 + 12.56 + 6.28 + 6.28 = 50.24 \text{ cm} \dots \text{答}
 \end{aligned}$$

$ \begin{array}{r} 3.14 \\ \times 8 \\ \hline 25.12 \end{array} $	$ \begin{array}{r} 3.14 \\ \times 4 \\ \hline 12.56 \end{array} $	$ \begin{array}{r} 3.14 \\ \times 2 \\ \hline 6.28 \end{array} $	$ \begin{array}{r} 25.12 \\ 12.56 \\ 6.28 \\ + 6.28 \\ \hline 50.24 \end{array} $
---	---	--	---

別解

(**)のつづき

$$\begin{aligned}
 & 8 \times 3.14 + 4 \times 3.14 + 2 \times 3.14 + 2 \times 3.14 = (8 + 4 + 2 + 2) \times 3.14 = 16 \times 3.14 \\
 & = 50.24 \text{ cm}^2 \dots \text{答}
 \end{aligned}$$

$$\begin{array}{r} 3.14 \\ \times 16 \\ \hline 1884 \\ 314 \\ \hline 50.24 \end{array}$$

7 問1 参考

直方体の体積の求めかた
直方体の体積＝たて×横×高さ

アの体積は

$$20 \times 24 \times 16 = 480 \times 16 = 7680$$

$\begin{array}{r} 20 \\ \times 24 \\ \hline 80 \\ 40 \\ \hline 480 \end{array}$	$\begin{array}{r} 480 \\ \times 16 \\ \hline 2880 \\ 480 \\ \hline 7680 \end{array}$
---	--

イの体積は

$$20 \times 18 \times 22 = 360 \times 22 = 7920$$

$\begin{array}{r} 20 \\ \times 18 \\ \hline 160 \\ 20 \\ \hline 360 \end{array}$	$\begin{array}{r} 360 \\ \times 22 \\ \hline 720 \\ 720 \\ \hline 7920 \end{array}$
--	---

ウの体積は

$$10 \times 30 \times 20 = 300 \times 20 = 6000$$

$\begin{array}{r} 10 \\ \times 30 \\ \hline 00 \\ 30 \\ \hline 300 \end{array}$	$\begin{array}{r} 300 \\ \times 20 \\ \hline 000 \\ 600 \\ \hline 6000 \end{array}$
---	---

解答 イ…答

問2 解答

段ボールのたて，横，高さが，段ボールに入れる箱のたて，横，高さの倍数となっているものを選べばよい。

解答 ア，ウ…答

問3 **解答**

アの段ボールはたてに4個，横に8個，上に4個箱をつめることができるので

$$4 \times 8 \times 4 = 32 \times 4 = 128 \text{ 個}$$

$$\begin{array}{r} 32 \\ \times 4 \\ \hline 128 \end{array}$$

つめられる。

イの段ボールはたてに4個，横に6個，上に5個箱をつめることができるので

$$4 \times 6 \times 5 = 24 \times 5 = 120 \text{ 個}$$

$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 5 \\ \hline 120 \end{array}$$

つめられる。

ウの段ボールはたてに2個，横に10個，上に5個箱をつめることができるので

$$2 \times 10 \times 5 = 20 \times 5 = 100 \text{ 個}$$

$$\begin{array}{r} 20 \\ \times 5 \\ \hline 100 \end{array}$$

つめられる。

解答 箱をいちばん多くつめられる段ボール ア

その段ボールに詰められる箱の個数 128個 … **答**